

ISFJ *Inter-university Seminar for the Future of Japan*

ISFJ2021中間発表会 活動報告書

文責：広報部 佐々木千潤

【日時】

2020年9月26日(日)

【会場】

zoom(新型コロナウイルス感染症により)

【参加】

20大学27分科会98チーム

【概要】

中間発表会は、各研究会が分科会ごとに分かれてそれぞれの研究成果を発表し、専門家であるコメンテーターの方々からご意見をいただく催しです。12月11日・12日に開催される政策フォーラムに向け、各研究会が多角的な分析を行い、完成度の高い論文を仕上げていくための機会と位置づけ、開催いたしました。発表後には、発表を聞いていた研究会による質問や意見シートの提出、専門家の方によるコンサルティングタイム等、第三者視点からの意見を頂戴できる機会を多く設け、最終論文の執筆に向けて疑問点や不安点を解消する機会としました。

【企画内容】

各研究会の皆様による20分間の発表を踏まえ、聞き手である残りの研究会の皆様には質疑応答と意見シートを記入する時間を10分間設けました。

研究会1班の発表が終了するごとに、20分間コメンテーターの方と個別に相談するコンサルティングタイムを設け、参加者の皆様が抱えている疑問などにお答えいただき、論文や発表の向上に向けたアドバイスをいただきました。

なおコメンテーターの皆様には前もって、参加者の皆様に事前に提出いただいた中間論文を読んでいただき、論文中の論理破綻、事実誤認などの基本構成および発表の不備、論文と発表間の齟齬の有無について確認していただき、忌憚のないご指摘をお願いいたしました。

また、会の最後にはコメンテーターの皆様から総評をお一方10分ほどいただき、これをもって閉会と致しました。

【責任者総評】

今回の中間発表会では、新型コロナウイルス蔓延に伴い、昨年と同様zoomを用いたオンライン形式での発表を行いました。発表内容については、各研究会が周到に準備をしてきたことが分かるもので、最終論文に向けてより深まったものであったとの印象を受けました。また、コメンテーターの方々とも活発な意見交換と議論が繰り広げられ、政策フォーラムまでの残された時間が限られている中で、大変貴重な機会となりました。

一方で参加者である学生の質問が少なかったようにも感じました。より良い政策提言を行うためには活発な議論や意見交換が不可欠です。そのためにも参加者の皆様が積極的な参加がしやすくなるよう運営委員共々努めて参ります。新型コロナウイルス感染症の影響下で今まで通りのイベントの提供が難しくなっております。その中でも例年に劣らず、円滑なイベント運営に努めるとともに、参加者の皆様の研究活動を様々な面からサポートすべく活動して参ります。